

APR

6



令和6年度 主催事業

マンスリー／森のようちえんのご報告

参加家族：12組（35名）、職員・スタッフ4名、ボランティアリーダー3名



満開の桜の中、今年度最初の森のようちえんがスタートしました。初めて参加される家族も多く、ドキドキわくわくが伝わってきましたが、アイスブレイクで大人も子どもも一気に緊張が解け、さあ、いよいよ森へ！

人工物が何もない森の中、初めは「どうやって遊んだら良いのだろう？」と戸惑う姿も見られましたが、そこはさすが子どもたち、朽ちた木が落ちているのを見つけて「お芋みたい！」と、皮をむいてみたり、木の表面が目のように見えるものがある事に気づき、「木の目探し」を始めたり、切りかぶを鍋に見立て、材料を探してお料理を始めたり。



それぞれ、自分たちの興味のある世界で遊び込んでいました。中には、最初から最後まで、枯れ木の根っこを掘り続け、最後の最後に見事に引っっこ抜き、はにかんだ笑顔の奥に、誇らしげな輝きが。お弁当はさくらの広場で食べました。風が吹くと桜吹雪になる驚きの風景の中、お花見弁当をみんなで楽しみました。

食後は自然の家の職員のかっちゃんが『ゆがの森カフェ』を開いてくれました。大人は自然の中で、ゆったり本格的なコーヒーを楽しむ、子どもたちは再び森遊び。さようならをしたあとも、まだまだ遊んでいたい、その場を離れがたい、そんな楽しく豊かな、春の森のようちえんでした。

5月はゴールデンウィークでお休みのため、次回は6月です。春とはまた違った自然の様子の中で、どんな発見があるでしょう。皆さま、お待ちしております。